

○令和4年度第1回つくばみらい市総合教育会議

- 1 日時 令和4年9月30日（金）午後1時30分から
- 2 場所 伊奈庁舎 3階 大会議室
- 3 出席委員

つくばみらい市長	小田川 浩
教育長	町田 幸子
教育長職務代理者	高橋 秀光
委員	久下 伸子
委員	安河内崇代
委員	秋田 昌彦
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員

教育部長	鈴木 富夫
学校総務課課長	尾崎 和博
学校総務課課長補佐	飯泉 覚
適正配置推進室室長	海老原 弘
学校総務課主査	坂本真理子
学校総務課主事	村田 直也
教育指導課課長	櫻井 芳則
教育指導課副参事	大藤 正晴
生涯学習課課長	大山 茂
生涯学習課主査	渋谷 正夫
生涯学習課主査	鈴木 令子
生涯学習課主査	岡野記代子
スポーツ推進室室長	横張 勝己
伊奈公民館係長	猪瀬 隆司
図書館館長	関 俊明
図書館館長	川田 賢司
- 6 傍聴人 なし
- 7 協議・調整事項
 - (1) つくばみらい市教育大綱（案）について
 - (2) 令和5年度学校教育について
- 8 議事

事務局	【令和4年度第1回つくばみらい市総合教育会議の開会宣言】
市長	【あいさつ】
事務局	それでは協議・調整事項に入ります。進行につきましては運営要綱規定に基づき市長お願いします。
市長	(1) つくばみらい市教育大綱（案）について」説明をお願いします。
事務局	つくばみらい市教育大綱（案）について説明
市長	質疑を諮る。
委員	教育大綱の新しい未来へ繋がる教育を目指しては、なるほどそのとおりだなと思った。全体的に、基本目標1～4を見わたすと、基本目標1、2で知・

	徳・体があり、そして生涯学習に繋がり、その環境ということで、全体的にみると、世界へ羽ばたけの基本理念に繋がる。大きな枠組みはよいのではと思っている。その中で、基本目標1の自分の可能性に挑戦する学力を育てると、そして、子どもの未来を支える強い教育と。ここでの強い教育は、すごく印象が出ている。ここでの意味は、先ほど説明はあったと思うが、強い教育とは具体的にはどんなことをイメージしているのか。基本目標2の子どもの力を信じて強い心と体を育てるは、なるほどと。強い心と体を育てるは、イメージできるが、1の強い教育となると、すごく力や圧を感じがちである。だけど、思っている理念は、違う方向ではないかと思う。つまり、強い子どもを育てる教育とは、ちょっとしたことでくじけないような意味ではないかと思っているが、具体的にはどうなのか。それと、その中に、前にはあった義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進します、が消えている。消えているが、一番上では、幼稚園と小学校との連携が入っている。これは、大事なことであるから入っていてよいが、小中はどうなるのか。今は、幼保小中と高校も意識したような、市内に高校があるから、幼保小中高というような連携も入れた方がよいのではと感じたので、検討していただければと思う。
事務局	強い教育に関しましては、いろんなカテゴリーでまんべんなく幅広い教育をしたいイメージがあります。委員のご指摘のとおり、強い教育は具体的にどんなイメージとなれば、すこし伝わりにくいと感じました。表現については、再度見直しをしたいと考えております。
事務局	これまでも市内では、小中一貫教育を続けています。委員のご指摘のとおり、最近、幼保小の部分がクローズアップされている部分があります。幼稚園・保育所・小学校の繋がりのところは、教職員の中でも研修等を行って子どもたちの教育に関しての関心を高め、同時に知識も身につける研修が強く叫ばれています。また、高校との繋がりという意味では、みらい土曜塾で、伊奈高校生がボランティアで、子どもたちの学習に昨年度末から参加しており、地元の子どもたちへの高校生の貢献や、市役所に赴き、プレゼンなどしていただいたことを私も聞きました。そういった繋がりを考えますと、含めてもよいと感じています。
委員	先ほどの、強い教育を検討していただけると、私は、強いというのはある意味、やわらかさやしなやかさなど、ちょっとした困難にあっても立ち向かう強さがこれから変化する社会に、そんなことをつけていく必要があるのではないかと思います。 時代の変化やグローバル社会に対応できる能力ということが書かれている。どんどん変化するから、対応していかないことは当たり前のこと。世界へ羽ばたけと書いてあるのであれば、強い教育には、対応して挑戦するということを入れ、強い教育から挑戦する学力まで入れてもよいくらいに思う。そのあたりも含め再度検討していただきたい。
委員	新しい未来へ繋がるについて、未来そのものは、新しいことと思う。新し

市長	いに込められた特別な意味があるのか。また、前回もあったが、Realize your dream のところで、世界へ羽ばたけの部分と英語のところがややかけ離れているのではないかと。この世界へ羽ばたけの部分の波線のところで私なりに消化できたことと、市長のごあいさつのところの、つくばみらい市は、一人ひとりの夢に寄り添いというところで、実現できるようにと新しい時代を見据えたの言葉で基本理念の言葉が生きていたのではと感じた。新しい未来へ、未来そのものが新しいはずなのに、さらに新しいを入れた意味を教えてください。 そここのところは、私から説明をします。私が、2 期目の時に話したことで、今日より新しい明日、新しい未来と言いました。今まで普通に日常を送ることで、明日は来るんですが、そうではなく、新しい明日を創る、今日より新しい今日、今を創る、新しい明日を創ることで、つくばみらいの未来を新しい未来でと考えて表現しています。つくばみらいの未来にかけているところがあります。 事務局から、世界へ羽ばたけのところはどうですか。
事務局	前回のところでしょうか。
委員	同じところですか。英語の表記と世界へ羽ばたけがかけ離れているところを波線でうまく表現されているのかと、今日は感じています。
委員	こうしたらよいとまではないが、違和感があるところを話したいと思う。 まず、基本目標 2、子どもの力を信じて強い心と体を育てるところ、基本目標 1・3・4 は学力を育てるや環境を創る、生涯学習のことが書かれている。最初のころの書き出しが、例えば学力であれば、自分の可能性に挑戦するための目的という、言葉尻なのかと、3 も 4 も同じような意味合いと感じた。基本目標 2 の子どもの力を信じるは、とてもいい言葉と思う。ただ、ここだけは、3・4 と比べて少し違う、違和感がある感じがした。例えば、強い心と体とするなら、たくましく生きるため、になれば目的になり、その後ろに強い心と体と結びつくのではないかと。1・3・4 と書き出しの文書と一致するのではないかと。2 点目は、当たり前なことだが、命を大切にする教育の文面を入れるのはどうか。つくばみらい市では、大きな事件・事故などはないが、テレビでは毎日、いろいろなことが起きている。家庭や学校で、日々指導していることだと思うが、命の大切さは入れた方がよいのでは。あと、文面で、子どもや子どもたちという言葉がある。あえて違うことにしているのか。基本目標 3 に家庭の教育力向上を促進するとあるが、家庭の教育力を向上させればよいのかと疑問がある。家庭・学校・地域それぞれで、やれることを頑張るという文面の方がよいのでは。子どもたちのことを思う気持ちは誰も一緒。家庭・学校・地域それぞれの役割を明確化して、互いに補完しながら、子育てができる環境づくりといった感じを考えてみたが。3 番目と 4 番目、言葉尻が違うが、似た言葉のような感じがした。
事務局	子どもの力を信じて強い心と体を育てるについては、前回の総合教育会議

事務局	の中で承認を得ていますが、内容としまして、子どもたちの自主性などを信じながら、子どもが一人で進めるような、気持ちもそうですし体もそうですが、強く生きていってほしい、子どもを信頼して、一人で自立できるような強い心と体になってほしいという目標内容になっています。 この部分については、前回の総合教育会議において、皆さんに審議していただいた部分になります。そのうえで、再考しようと思います。
事務局	やっぱり違和感を感じることは、大切だと思います。委員の皆さんが違和感を感じることであれば、他の方にも更に違和感が出てくると思われます。そういった部分・表現については、改めて直し、確認させていただきますが、こういったニュアンスになることはご理解いただければと思います。
市長 教育長	次に、命を大切にするといった部分についても。 3つ目あたりのいじめを見逃すことなくのところで、5つありスペースもないので、その部分にうまく命という言葉を入れられればよいのでは。
市長 事務局	あと、家庭の教育力のところについては、どうですか。 よく、学校・家庭・地域が補完する協力しあうというご意見がありましたので、そういう意味合いの方がバランス取れるように思います。言葉の読み方によっては、家庭に依頼する感じがしますので、学校も家庭も地域もという平等にする文書がベストと思います。
委員	ニュアンスとして、すばらしく、逆にこれを基にどうすれば、具体的な施策が難しくなるのではと思いました。ただ、言葉というのは非常に難しいので、今、ご指摘があった言葉遣いや表現は大事なポイントになると思いました。
委員	先ほどもありました、命を大切にすることに結びつくこととして、いじめをしてはいけないことと捉えるのではなく、やっていいこと、やってはいけないことを学校がしっかり教えていくことと考えている。どうして命を大切にしなければならないのか、なぜ勉強するのか、規範意識、これは平和にかかわることだと思います。人としてやってはいけないこと、これはしっかり目標の中に入れてほしいと考えている。
市長 教育長	事務局は、このことを考慮してください。 表紙ですが、とてもシンプルでいいかなと思うが、世界へ羽ばたけという教育理念を示すような表紙になればいいかなと思う。例えば、子どもたちの姿があって、未来をみている姿など。一般の方も見るものなどで、よりインパクトがあるものがよい。
委員	あと細かいところで、あいさつのところの一人ひとりと一人一人という表現は、今は、一人ひとりかな、一緒にした方がよいのでは。
市長 市長	ここは統一した方がよい。 よろしいでしょうか。
事務局	次に、(2) 令和5年度学校教育について、委員の皆さんから自由に意見をいただくことですか。 はい、フリートークをお願いします。

市長	学校教育について意見交換をする。
事務局	よろしいでしょうか。
事務局	終了して、事務局に戻します。
事務局	市長、議事進行ありがとうございました。
	その他について、事務局より、今後のスケジュールを説明させていただきます。
	教育大綱の今後のスケジュールを説明
	【令和４年度第１回つくばみらい市総合教育会議の閉会宣言】

上記決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和４年９月３０日

市 長
教 育 長

小田川 浩
町 田 幸 子